

家庭での健康観察の再徹底と体調不良時の対応について

平素より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本校では、6月の学校教育活動再開以降、学校における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に徹底して取り組んできたところですが、京都市内では、11月17日にはこれまでの最多となる40人の感染が確認され、京都府が示す特別警戒基準に達するなど、感染の広がりが懸念されます。

各家庭におかれでは、11月17日付プリント「新型コロナウイルス感染拡大に向けての本校の取組とお願いについて」において、今後の感染対策をお願いしたところですが、別途京都市教育委員会から以下の内容について周知するよう通知がありましたので、再度お伝えさせていただきます。感染拡大防止の取組にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

記

I 健康状態の把握

- ① 引き続き、毎日朝晩、お子様の体温を測定し、発熱や咳などの風邪の症状はないか等、健康観察を行い、その結果をお配りしている「健康観察票」にご記入ください。本票は必要に応じて学校に提出していただく場合がありますので、大切に保管してください。また、保護者の皆様も、お子様と一緒に毎日の健康観察にお取り組みいただき、ご家族で保健衛生の取組を進めていただくことをお願いいたします。
- ② お子様が登校される際は、必ず「健康観察票」を持参させてください。
倦怠感やのどの痛み等の症状があったにも関わらず登校していた方が、後日、新型コロナウイルスに感染していたことが分かり、学校教育活動に大きな影響が出た事例があります。登校前の健康観察で発熱や風邪症状等、体調不良が少しでもみられる場合は、学校に連絡のうえ、感染拡大防止のため、必ず登校を控えて自宅で休養させてください。
- ③ お子様に発熱や体がだるい・のどが痛いなどの風邪症状があるときは、かかりつけ医等、身近な医療機関（地域の診療所、病院）に、まず電話で相談してください。休日・夜間など受診できる医療機関がない場合は、「きょうと新型コロナ医療相談センター」（電話 414-5487、365日24時間受付）に連絡してください。

11月1日から新型コロナウイルス感染症の相談・検査体制が変わります。

発熱症状などのある方は、まずは地域の診療所にお電話ください。

- 診察した医師の判断により、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの検査を実施します（または、検査のできる医療機関を紹介します）。
- 休日・夜間や、かかりつけ医のいない方は、
きょうと新型コロナ医療相談センターに連絡を。
(11月1日開設：075-414-5487／365日24時間、京都府・京都市共通)



少し熱があるんだけど心配だな 帰国者・接触者相談センターに電話してみようかな



ちょっと待って、11月1日からは地域の診療所などかかりつけ医に電話することになったのよ



地域の診療所で検査してもらえるのは助かるね



裏面あり

少なくとも以下のいずれかの症状がある場合は、すぐに医療機関に電話でご相談いただくとともに、学校へお知らせください（電話593-3250）。

- 息苦しさ（呼吸困難）や強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある。
- 基礎疾患があるなど重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある。
- 上記以外の方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状が続いている。

※ 同居されているご家族に上記のような症状がある場合も、お子様に自宅休養のご協力をお願いする場合があります。

④ 上記③以外でも、ご家庭において次のような状況が起こった場合は、登校を控え速やかに学校へ連絡してください（電話593-3250）。また、保健所等からお子様の自宅待機について要請があった場合も、登校を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。

- お子様が、検査などにより新型コロナウイルス感染症と診断された。
- お子様や同居されているご家族に感染の疑い（疑似症）があり、検査を受けるよう医師等から言われた。
- ご家族などが感染され、お子様や同居されているご家族が濃厚接触者として検査や経過観察が必要であると医師等から言われた。

※③・④の場合は、詳しい状況をお聞かせいただきたいと思いますので、かならず電話で連絡をしてください。

※今後も発熱や風邪等の体調不良で欠席される場合は、「欠席・遅刻連絡フォーム」を活用して連絡をしていただきたいと思いますが、その際は連絡事項に体温の具体的な数値や症状を入力していただきますよう、お願ひいたします。

2 感染症対策の徹底

京都市内では、飲食の機会だけでなく職場や学校、また、家庭内や施設内などで感染が広がっています。ご家庭においても、引き続き基本的な感染症対策の徹底と実践に努めていただきますようお願ひいたします。

感染防止のポイント

※京都市HP「京都市情報館」より

改めて、基本的な感染防止対策の実践をお願いします

- マスクの着用、手洗い、身体的距離の確保の実践を！
(「帰宅したら、まず手洗い、うがい」の徹底を！)
- 3つの密（密閉・密集・密接）を避ける
- 大声での会話や歌唱を伴う宴会・飲み会を控える（飲食等マスクを外す場面は特に注意！）
- 日常的に体温計測などの体調管理を行い、少しでも具合が悪い場合はためらわずに仕事や学校を休む
- 感染防止対策に取り組まれている店舗の利用を！
(右上のガイドライン推進宣言事業所ステッカーが目印です。皆様ご自身も店舗のルールを守ってください。)
- 「京都市コロナあんしん追跡サービス」等の活用を！



新たに、次の対策の実践もお願いします

- 寒い環境でも換気の実施を！ [新型コロナウイルス感染症対策分科会提言]
機械換気による常時換気を行う。機械換気が設置されていない場合は、室温が下がらない範囲で常時窓を開ける。（窓を少し開け、室温は18°C以上を目安！）
- 適度な保湿を！（湿度40%以上を目標） [新型コロナウイルス感染症対策分科会提言]
- 発熱などの症状のある方は、まずは地域の診療所（かかりつけ医）に電話相談を！
- 高齢者インフルエンザ予防接種の活用を！